

事務事業名 天拝山観月会開催事業（市祭「天拝山観月会」補助）

出力日：令和06年03月18日

キーコード：479

施策：	06	観光の振興	財務コード	01060103-06-394
基本事業：	01	観光資源の活用	担当部	環境経済部
基本事業の成果指標	温泉利用客数 市祭等のイベントにおける物産品売上額		担当課	商工観光課
			担当係	商工観光担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	昭和47年度 ~		新規・継続	継続	会計区分	一般会計	実施計画			
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）							
「天拝山観月会」実行委員会			市祭「天拝山観月会」の開催の為に組織する実行委員会（「天拝山観月会」実行委員会）の活動費として補助金を交付する。 【補助金交付の流れ】 補助金交付申請書提出 補助金交付決定通知 補助金交付 実績報告 【天拝山観月会の概要】 ・日程：9月～10月の中秋の名月もしくは満月 ・場所：天拝公園 ・主催：「天拝山観月会」実行委員会（市、商工会、観光協会等） ・内容：御神火点火、ステージイベント、お茶会、市内事業者による出店等							
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）			【天拝山観月会の概要】							
「天拝山観月会」実行委員会によって、本市祭の運営が活性化し、市民等来場者が本市祭および市内観光・物産に対して魅力を感じることができている。			・日程：9月～10月の中秋の名月もしくは満月 ・場所：天拝公園 ・主催：「天拝山観月会」実行委員会（市、商工会、観光協会等） ・内容：御神火点火、ステージイベント、お茶会、市内事業者による出店等							
4. 成果（簡易評価は未記入）										
成果指標名称		単位	03年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	目標	
			実績	実績	当初	要求	計画	計画		
「天拝山観月会」への来場者数		人	0	10,000	10,000	10,000			10,000	
「天拝山観月会」での物産品売上額		円	0	205,090	300,000	300,000			300,000	
5. コスト										
事業費		計	千円	0	3,600	3,600	3,600			
		国	千円	0		0	0			
		県	千円	0		0	0			
		地方債	千円	0		0	0			
		その他	千円	0		0	0			
		一般	千円	0	3,600	3,600	3,600			
正職員人工数		人工	0.7	1	1					
正職員人件費		千円	5,545	7,728	7,815					
トータルコスト(事業費+正職員人件費)		千円	5,545	11,328	11,415	3,600				
6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）										
あがっている どちらかといえばあがっている あがっていない（停滞・低下）	イベントの性質上、正確な来場者数の把握は困難だが、本市を代表する祭りの一つとして定着しており、毎年約1万人の来場者で賑わっている。 平成27年度から、祭りでの物産品売上額を把握するようにし、新たに成果指標に設定していることから、今後は成果向上に向けて取り組みを進める必要がある。 令和4年度は3年ぶりに開催し、3密防止のため開催時間を繰り上げたり、花火を実施しないなどの工夫を行ったが、どの時間帯も会場の中には来場者が一定数おり、例年と変わらない賑わいがあった。									
7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）										
対象動向	維持	類似事業	あり	本事業は90年以上もの歴史があり市民に定着した祭りとなっている事業内容がマンネリ化しないようイベントの工夫を行なっている。						
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし							
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし							
上位貢献度	影響度は大	業務推進課題	あり							
成果向上余地	中程度									
8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）						改善方向性	維持	見直し	廃止	事業終了
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）										
歴史ある本事業の伝統を大切にしながらも、本市の魅力を外に発信できるような新しい取り組みを取り入れていく。										
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）						備考・特記事項 or 進行管理欄				
この祭の起源は、大正13年に菅公ゆかりの天拝山を中心として始められもので、平成元年に市祭の一つとして、観光協会、商工会、市が中心となり実行委員会を構成し開催している。						昨今の人件費・物価高騰に伴い警備費等が上がっているため、実行委員会より補助金増額を求められている。				